

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

非正規社員から正社員への割合を増やすこと 鈴木 茂晴 (日本証券業協会会長)

- 2016 年、日本企業全体の内部留保は初めて 400 兆円を超えた。これを賃上げや整備投資の原資にすべきとする声が多いが、そのうち、実際に使える現預金部分は約 200 兆円だ。私はこの金額が決して大きすぎるとは思わない。むしろ、非正規雇用者が増えている点が賃上げにマイナスの影響を与えていると思う。
- 非正規雇用率は 1990 年代後半で 20% 程度だったが、現在は 37% と 4 割近い水準にまで高まった。長く続いたデフレ経済で、企業はコスト削減に動いた。結果、人件費の調整弁として非正規雇用者が増えていった。そのため、労働力人口が減少して人手不足感が強まっているにもかかわらず、正社員の賃金がなかなか上がらない。この問題は回り回って企業にもはね返ってくる。
- 優秀な人材は囲い込みや、経済活性化の意味において、企業は正社員の割合をもっともっと高めるべきだ。人件費はコストではなく、投資である。今まで働き方改革などを通じて生産性を上げることに注力してきた企業ならば、ある程度の賃上げは必ずできるはずだ。賃上で従業員が安心して働く環境を整備し、やる気を出してもらおう。結局はそれが、自社の経営方針や哲学を貫くことにもつながる。

(参考:「日経ビジネス」2018 年 2 月 12 日号)

心・健康・環境について

ナッツを食べて心疾患を予防

- ダイエット食品として人気のナッツ。ところが、一日 30 グラム程度のナッツを食べていると、心筋梗塞の発症リスクがぐんと減るらしい。米ハーバード大学公衆衛生学栄養学部の報告から。同報は、同大が 32 年にわたり行ってきた看護師健康調査と医療専門職追跡研究という二つの大規模疫学調査のデータを横断的に解析したもの。
- 発症リスクとナッツ (アーモンド、カシューナッツ、ピスタチオなど) を 1 サーピング (28 グラム) 摂取するごとに、心筋梗塞の発症リスクが 13% も減少することがわかった。ナッツを頻繁に食べるほどリスク下がるといふわけ。一日ナッツ 28 グラム。おやつやおつまみで簡単にクリアできそうな健康法である。ただし塩味のきついナッツは避けること。

(参考:「週刊ダイヤモンド」: 2018 年 2 月 3 日号)

人事・労務について

管理職は役割は「内」から「外」へ

太田 肇 (同志社大学大学院教授)

- 昨今の企業不祥事をみると、経営層と現場の間に人や組織を狭むことがマイナスに働いている。昨年は発覚した日産自動車における無資格検査問題においても、管理者層と完成検査の現場との間の壁が、健全な企業活動を妨げる要因となったことが、調査報告書によって指摘された。
- これから必要なのは、内向きな「管理」型リーダーではなく、外に向いて仕事を構築できるリーダーだ。管理職には新規事業の開拓やマーケティング戦略の策定、オープンイノベーションをもたらす他者との提携といった分野で力を発揮することが求められる。

(参考:「Wedge」2018 年 3 月号)

古典に学ぶ

失敗は多く得意の日に生ず

(解説) 失敗は多く得意の日にその兆をなしておる。人は得意時代に処してはあたかもかの小事の前に臨んだ時のごとく、天下何事か成らざらんやの概をもって、いかなることも頭から呑んで掛るので、ややもすれば目算がはずれてとんでもなき失敗に落ちてしまう。だから人は得意時代に調子に乗るといふことなく、大事小事に対して同一の思慮分別をもってこれに臨むがよい。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)